

但馬の青少年

令和3年3月
但馬青少年本部だより第60号
編集・発行

但馬青少年本部

〒668-0025 豊岡市幸町7-11
但馬県民局地域政策室協働推進課内
TEL 0796-26-3648
FAX 0796-23-1476

日本ボーイスカウト但馬地区協議会「氷ノ山登山」

P4に紹介記事



生活の中に 「強い絆」づくり

但馬青少年本部長

石田俊一

幾年振りかの大雪に見舞われた厳しい但馬の冬も、ようやく春の芽吹きに出会えました。新しい年の正月は、生活と気持ちの切り替えの大切な節目として目出度く明るく祝うのが常ですが、今年は新型コロナウイルスに翻弄され、不安で憂鬱な気分の残念な年始になりました。地球規模で蔓延するコロナウイルスの混乱は一年以上も続いています。2020年4月16日には全国に緊急事態宣言が発出され、その後宣言は一旦解除されました。今年1月14日に再び発出されました。学者や専門家の歴史検証に「人類は、幾度となくウイルスに翻弄されその戦いを乗り越えてきた歴史をもっている」とあります。紀元前から、その戦いは繰り返され、100年前には世界規模のスペイン風邪が流行しました。全世界で推定5,000万人、日本でも50万人の命を奪ったといわれています。

私は、この事態が発生して以来、今最も懸念しているのは「3密回避の生活様式」推進のことです。密閉・密集・密接を避ける生活ですが、以前、青少年育成の研修の折、米国の社会学者ハーシーの「社会的絆理論」を学びました。「人がルールに従うのは身近な集団の中の絆の強さによる」というものです。言い換れば、人が非行や犯罪を犯してしまう大きな要因は「家庭や社会の中の絆のひ弱さ」にあります。私たちの青少年育成活動の要は「家庭と社会の中の力強い絆」をひたすら求めるでした。しかし「ふれあい」や「集い」を否定せざるを得ない、三密を避ける生活に「絆」づくりは非常に困難なのです。2011年3月東日本大震災、福島第一原発事故、かつてない国難の時に人々は「絆」を口にすることで互いの意志を確かめ合い、支援の輪は国外にも広がったといわれています。その年の「今年の漢字」は清水寺貫主の揮毫による「絆」でした。私たちは、国難コロナウイルスの今、生活の様式は変えざるを得なくとも、家庭と地域に「力強い絆を結ぶ」強い意志と覚悟をしっかりともととうではありませんか。



但馬中学生からのメッセージ



～私の主張 2020～



今年で第30回となる「但馬中学生からのメッセージ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作文審査になりました。但馬管内6ブロックの代表6名が日常生活や団体活動等の体験を通して、考えていることや感じていること、未来への希望や提案などを主張しました。

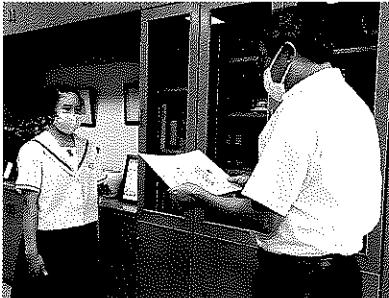
豊岡市立出石中学校の室裕希くんが最優秀賞の「但馬青少年本部長賞」を受賞。「守り、繋げるふるさとの宝」と題し、出石ミズアオイの会の方々と共に、外来種のオオフサモの駆除やミズアオイの保護活動に取り組み、地域の人・先輩・友達・後輩など地域を愛する人と人との繋がりを感じるものでした。室くんは但馬代表として、9月26日（土）、兵庫県民会館（神戸市中央区）で開催された兵庫県大会に出場しました。

○但馬青少年本部長賞（最優秀賞）

「守り、繋げるふるさとの宝」 豊岡市立出石中学校 3年 室 裕希

○但馬中学校長会長賞（優秀賞）

「笑顔の似合う町 城崎」	豊岡市立城崎中学校	3年 岸本陽菜乃
「私の願い」	香美町立香住第一中学校	3年 小林 美咲



○奨励賞

「リスタート」	養父市立関宮学園	9年 上田 真綾
「言葉は刃物」	朝来市立梁瀬中学校	3年 小山 美希
「文化を尊重していく社会」	香美町立小代中学校	3年 藤井 真由



山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会



令和2年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。令和3年度は、早期終息していることを願いつつ、感染症対策を徹底し、実施できるよう協議していきます。



第16期こころ豊かな人づくり500人委員育成事業



「青少年サポートセミナー」但馬ブロック



昨年度に引き続き、但馬ブロックは第16期受講生12名でスタートしました。今年度は、コロナ禍の中、なかなか講座が実施できず、9月からのスタートになりました。講座としては“ひきこもり”や“SDGs”“SOS キャッチ研修”



等講師の方のお話を聴いたり、“科学チャレンジ2020&みてやま親子交流フェスタ”へのスタッフ参加や普及啓発活動を行いました。

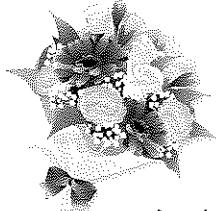


コロナ禍で受講が難しい中、受講生の皆さんはとても熱心に参加していただきました。すでに活動をされている方もいらっしゃいますが、この「青少年サポートセミナー」を機に、青少年育成活動に繋がっていってくれるでしょう。

但馬青少年本部長表彰

地域で日常、地道にしかも他の模範となるような活動を進めている青少年、青少年指導者及び青少年団体、グループ等を表彰しています。平成7年度から実施しており、これまで青少年、青少年指導者の部60名、青少年団体・グループの部74団体が受賞。令和2年度の受賞者・団体は、次のとおりです。

※敬称は省略させていただきます。



◆ 青少年、青少年指導者の部(1名) ◆

青少年健全育成 波多野 哲哉(朝来市)



地域のふるさと教育の一環として、平成8年から「ふるさと山東をよく知ろう」というコンセプトのもと「ふるさと探検隊」として自然観察、山菜料理、川の生き物観察会、地域企業見学などを、企画・実施している。また、山東地域を軸に朝来市内各小中学校、公民館、自治協議会などで、自然観察やクラフトの指導をしている。その他、身近な自然環境の大切さの啓発活動を行っており、地域の青少年の健全育成に多いに貢献している。

◆ 青少年団体・グループ等の部(2団体) ◆

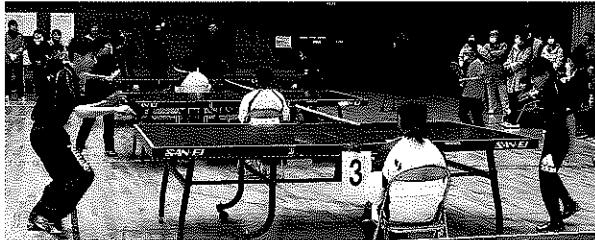
ロボット競技 近畿大学附属豊岡高等学校自然科学部(豊岡市)

2010年に但馬では珍しいロボットに特化した自然科学部を設立。毎年ロボカップジュニアに出場し、全国大会の常連になっている。2017年には第5回宇宙エレベーターロボット競技会の全国大会で優勝。また、昨年度は、「ジュニアサッカーディビジョン」で日本代表2チームのうち1チームに選ばれ、「ロボカップアジアパシフィック2019」(ロシア大会)に出場するなど、各種競技会で優秀な成績をおさめている。自然科学部の活躍が今後の但馬における青少年のロボット競技活性化に大きく寄与している。



社会参加 朝来市立和田山中学校卓球部(朝来市)

朝来市子ども会連絡協議会が開催している卓球大会において、長年ボランティアで審判員として大会運営に深く関わっており、なくてはならない存在になっている。また、昨年度は但馬中学校新人卓球選手権大会で準優勝している。同部の活動は地域の青少年のスポーツ振興に大きく貢献しているとともに、地域社会への活動参加の模範となる。



兵庫県青少年本部長表彰

日常、地域で地道にしかも優れた活動を展開している青少年及び青少年団体・グループ並びに青少年指導者及び青少年育成団体等を表彰し、その活動をさらに奨励するとともに、一般への周知を図り、青少年の健全育成に資することを目的とし実施。令和2年度の但馬の受賞者は、次のとおりです。

◆ 青少年、青少年指導者の部(2名) ◆

青少年健全育成

中田 和明(香美町)



平成8年、当時サッカークラブがなかった香美町村岡にサッカークラブを設立し、監督に就任。以来20年以上にわたって地域の少年サッカーチームを牽引し、県大会等でも活躍してきた。地域の子どもたちの指導のみならず、広く但馬一円、他府県からもチームを招いてのサッカー大会やプロコーチを招いて「サッカークリニック」を開催するなど、その指導力はすばらしい。また、チームの卒業生や指導者OBと青少年活動や交流の場づくりにも取り組まれ、地域のスポーツ向上と青少年の健全育成に貢献している。

青少年健全育成

脇本 浩三(新温泉町)



青少年育成推進協議会会長として8年間、青少年が安心して元気に成長できる環境づくりを醸成する活動を総括として取り組んだ。学校・地域と連携した定期的なパトロールの実施や不審者目撃情報があった際は美方警察と協力してパトロールを強化。また、地区毎の特色事業や公民館連携イベントを行うなど地域の魅力を青少年に伝えた。

さらに、「コミュニケーション」や「ネット」についての内容で青少年に関わる講演会を定期的に実施し、青少年問題の解決や地域の教育力を高める基盤づくりに努めた。これらの活動は地域の青少年健全育成に多いに貢献している。

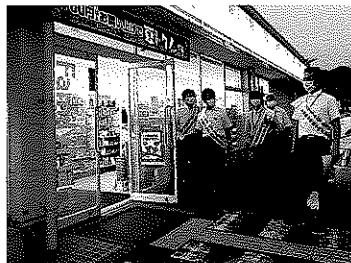
青少年を守り育てるスクラム運動の推進



但馬青少年本部では、青少年育成関係団体（28団体）並びに関係業界とともに、青少年の健全育成に向けた取組を進めています。社会のルールやマナーを守り、生きる姿勢を正すなど、まず、大人自身が変わらなければなりません。

青少年の非行防止や健全育成に対する県民意識を一層高めるため、今年度は、各市町の講演会やイベントで、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動街頭キャンペーンを実施。また、夏休みの期間中に、養父市と新温泉町内において、警察と教育委員会の方々とともに「青少年を見守るひと声運動」(夜間パトロール)を行いました。

さらに、関係行政機関等と協働してインターネットトラブル未然防止キャンペーン等の啓発活動も展開しました。



但馬青少年本部構成団体の活動

日本ボーイスカウト但馬地区協議会

「但馬の豊かな自然の中で体験活動」

スカウト運動は、子どもたちの自発的な活動を大切にしながら、いろいろな活動を通して集団生活のルールやマナー、思いやりの心を育み「社会に出て役立つ力と心」を養います。

昭和27年にスカウト活動が始まった但馬地区では、小学生から高校生まで5団163名のスカウト・指導者が活動しています。

スカウトは年齢（学年）によってピーバー・カブ・ボーイ・ベンチャー・ローバーの5部門（隊）に分かれ、野外を中心に活動します。ハイキングや夏のキャンプなどの野外活動、環境美化・募金などの社会奉仕活動、国際交流などです。

コロナ禍の中、例年のように大きな活動はできませんが、それぞれの団が工夫を凝らし野外クッキングや氷ノ山登山など、但馬の豊かな自然をフィールドに子どもたちにいろいろな体験の場を提供しています。



子どもの 冒險ひろば事業

「やしろチッパーズ」（新規団体）

「やしろの森冒険ひろば」

田畠の棚田があり、山手には雑木林や竹林、谷沿いには小川が流れる多様性に富んだフィールドの中で、「遊び学ぶ」をコンセプトに、5、6名のプレーリーダーが見守る中、午前中は季節の農作業などを一緒に体験し、昼食は一緒にご飯を作りて食し、午後からは子供達のやりたい遊びにプレーリーダーも見守りながら一緒にになって遊ぶという、遊びと体験の場を提供しています。

自然の中で遊ぶことや、土に触れ自らの手で育てた作物をいただくことで、開放的に遊べる気持ち良さや、生きる知恵、また「いただきます」の心を育むきっかけとなる場となることを願いながら活動を行なっています。



特色ある学校の取組

豊岡市立城崎小学校 温泉街 黄色帽子の あいさつ運動

温泉の街で、黄色帽子の子どもたちを見かけると外国人観光客がカメラを構えます。「街が一つの家族」という考えは、今では日常となっています。そんな街の子どもたちが、あいさつを通じて、より深く、人と人をつなげようとしています。コミュニティ城崎の協力をいただき、一昨年から、小学生が標語を作ることにしました。約600名の町民投票で作品を選びます。選ばれた標語を、大小のぼり旗にして街中に置きます。今年の最優秀作品は、「あいさつは みんなを笑顔にする まほう」です。黄色帽子の取組が、街中、世界中に広がりますように。



養父市立関宮学園 但馬初の義務教育学校開校

令和2年4月関宮小学校と関宮中学校がひとつになり、義務教育学校関宮学園としてスタートしました。今年度は次のような取組を行っています。

- ・前期課程の先生が後期課程で、後期課程の先生が前期課程で専門教科の授業をします。
- ・6年生は水曜日に後期課程校舎で、50分授業を受けたり給食や清掃をしたりします。
- ・儀式的行事や運動会を前期後期全体で実施します。
- ・前期後期の先生と一緒に授業研究を行い、授業力を高めます。

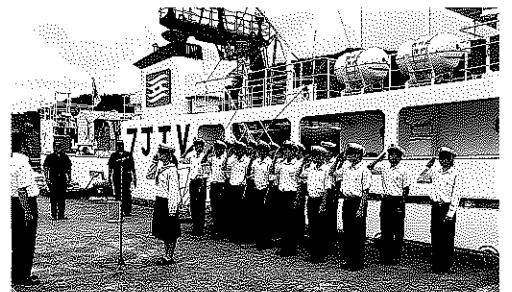
令和3年1月から新職員室と渡り廊下も完成し、さらに小中一貫教育の充実を図ります。



兵庫県立香住高等学校 海と地域に学び貢献する香住高等学校

県下で唯一の海洋科学科（近畿でも2校しかありません）があり、海を学ぶ環境と施設が整っています。この環境を生かして地域に貢献する様々な活動を行っています。

ラムサール条約登録湿地における生物相調査に、過去最多となる計46名の生徒が参加し、保全のための調査に協力しました。自然学校では県下の多数の小学校から申し込みがあり、缶詰づくりや水槽見学でたくさんの小学生の笑顔に貢献できました。また、小さいサイズのノドグロを有効利用した新商品づくりで、全国商工会審査員特別賞を受賞しました。



青少年育成団体の取組

※敬称は省略させて頂きます。

■子どもNGO「懐」

「マスクと民話」

学生副部長 田中かのん（豊岡高校2年）

「懐」は1995年に設立し、国内外でボランティア活動を行っています。

この1年はコロナ対応に絆り、マスク不足に伴い4月からマスク製作を始め、月にはミャンマーでの創作マスク展にも出品しました。ミャンマーの家庭では、厳しい自粛制限からストレスで問題が起こることがあると聞き、日本の民話をミャンマー語に訳し、小中高生と教員メンバーで挿絵を描き届けました。新温泉町では先の大戦で120名の若者がビルマ戦線で戦死されています。



その繋がりの思いもあり、ミャンマーでの活動は26年目となります。今、ミャンマーは政治的大変苦しい状況に置かれてしまいました。1日も早い平和を祈りながら自分達に出来ることを考えています。



■公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会 関西校

子どもたちの「自己信頼=自立と責任」構築に向けて

関西校 ディレクター 田中 裕幸

アウトワード・バウンドは、1941年にイギリスで発祥した世界33カ国に拠点を持つ非営利の冒険教育機関です。日本では、1989年に長野県小谷村に開校、2017年4月に豊岡市神鍋高原に関西校を開校しました。



アウトワード・バウンドは主に自然を舞台にしたチャレンジングな冒険活動に取り組み、そこから自己に秘められた可能性や他人を思いやる気持ちなどの豊かな人間性を育むことを目的に活動しています。

豊岡では市事業である子どもの野生復帰事業「キッズワイルド」を受託し毎月100名の子どもたちに様々な活動を提供し、自己信頼構築の場を提供しています。

新型コロナウイルス感染症に関する 人権への配慮について(お願い)

新型コロナウイルスは感染症対策を徹底しても学校や家庭、社会においてリスクをゼロにすることはできません。したがって、私たちはこの感染症と、この感染症がもたらす社会の変化に対して、正しく向き合うことが必要です。

学校では感染症への対応が長期にわたる中、感染症対策を講じつつ、学校教育ならではの学びを大事にしながら、教育活動を進めています。しかし、感染症に対する不安から生じるコロナ感染者への差別や偏見、誹謗中傷が大きな社会問題となっています。感染した人たちが心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりすることがないよう、思いやりの気持ちを持って生活をしていきましょう。

賛助会入会のお願い

但馬青少年本部では、21世紀の但馬を担う青少年の健全育成を目的とし、山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会、但馬中学生からのメッセージや但馬青少年本部長表彰など各種事業を企画・実施しています。これらの事業は、活動趣旨にご賛同いただいた方からの賛助会費によって運営されています。当本部賛助会にご加入いただき、ご支援くださいますようお願いします。

特典 兵庫県立円山川公苑美術館・
兵庫県児童野外教育センター等の割引

会員 個人 年間1口 2,000円
団体 年間1口 10,000円

申込 但馬青少年本部までご連絡ください。
(ご連絡後、振込用紙を送付させていただきます。)
0796-26-3648

「はばタン会員」募集中 しあわせな出会いを応援します

(公財)兵庫県青少年本部では、少子化の大きな要因とされる“未婚化・晩婚化”への対策として、社会全体で結婚を応援し、男女の出会いを支援するため、県内10地域及び東京に「出会い系サポートセンター」を設置しています。

はばタン会員に登録すると、ご自身のスマートフォンから24時間スマホ婚活システムにアクセスすることができ、登録会員のプロフィールを閲覧したり、会いたいお相手にお見合いを申し込むことができます。

お見合いは同センター、県内外の「お見合いスポット」、あるいはインターネットを利用した「スカイプお見合い」から選ぶことができます。

「良い出会いがあれば結婚を」と考えているみなさん、お待ちしています。
(令和3年1月末現在の成婚数924組)

お問合せ・申込先

但馬出会い系サポートセンター

〒667-0044 鞆父市八鹿町国木 594-10 但馬長寿の郷内
TEL 079-662-7701 FAX 079-662-7703

※受付日時:水・土・日曜日9:00~17:15(祝日・年末年始休館)

●会員登録料:5,000円(20歳代の方は3,000円)

登録日から1年間何回お見合いしても、会員登録料のみです。

LINE友だち
登録は
こちらから!



ホームページは
こちら!



【但馬青少年本部構成団体 28団体】

日本ボイスカウト但馬地区協議会、ガールスカウト但馬地区協議会、但馬地区青少年赤十字協議会、但馬地区子ども会育成連絡協議会、青少年育成運動推進指導員会、但馬地区薬物乱用防止指導員協議会、但馬市郡婦人会連絡協議会、但馬プロック老人クラブ連絡協議会、全但社会福祉協議会連絡会、但馬プロック民生委員児童委員連絡会、兵庫県青年洋上大学但馬地区同窓会、こころ豊かな人づくり500人委員会但馬OB会、但馬自治会、但馬区長連合会、(一社)豊岡青年会議所、但馬教育委員連合会、但馬教育長会、但馬社会教育委員連絡協議会、但馬PTA協議会、但馬地区県立高等学校PTA連合会、県立学校但馬地区校長会、但馬中学校長会、但馬小学校長会、但馬方面警察署長会、但馬教育事務所、但馬スポーツ推進委員会、兵庫県豊岡こども家庭センター、但馬県民局

家族で乗ろう但馬の鉄道

車窓から、大自然を体感しながら 特別な時間を!

但馬青少年本部は、但馬地域鉄道利便性向上対策協議会の構成団体です。

「たじま途中下車の旅ブログ」

